

基本目標1 それぞれの生き方を目指そう(基本施策1～3)

基本施策1 女性のための学習講座の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
1	働く女性のためのスキルアップセミナー	地域経営課	継続	実施時期:11月6日(日)、11月13日(日)(2回連続講座) 対象:働く女性 目的:働く女性の学習機会を提供するとともに、学習を通じての仲間づくりや交流を促進する。 内容:子育てや家事と仕事の両立について、その他仕事のスキルアップにつながる内容の講座を開催する。 前年度からの改善点:職場や家庭で必要になるスキルで実践しやすい内容とすることで、2回連続の受講につなげる。 目標値:仕事と家庭の両立において「参考になった」と回答した人が70%以上 予算額:20千円	実施時期:11月6日(日)、11月13日(日)(2回連続講座) 対象:働く女性 参加者数:11人(うち男性0人、女性11人) 内容:1回目…くつろぎのアロマヨガ～ここからだをほぐす運動～ 2回目:もっと“私らしく”生きるために～ストレスも味方にする思考術～ 工夫した点:昨年度は感染症対策として2回とも座学としたが、実践内容があった方が良いとの意見を受け、自分と向き合うためのヨガを取り入れた。また、セミナーの周知のため、「三条市勤労者福祉共済だより」に記事を掲載し、周知に努めた。 目標値に対する結果:「とても参考になった」「参考になった」と回答した人は100%で目標値達成。 決算見込額:26千円	今後も受講満足度を高めるために開催時間や内容を工夫していく。また、参加者増加のため、周知方法についても工夫していく。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18 =94.4%
2	ひまわり専科	生涯学習課(嵐南公民館)	継続	実施時期:6月～12月 対象:成人女性 目的:家庭や社会を取りまく生活環境の変化に対応して、女性を中心に、これからの生き方や生活・健康など暮らしの知識の習得する学習を通し、趣味や教養を深めるとともに、仲間づくりといきいきとした社会生活に役立てることなどを目的に開催する。 内容:①介護予防の学習②沖縄料理教室③ネイル体験④新図書館(まちやま)の紹介⑤DODALOカードを用いたコミュニケーション技術向上というテーマで6回開催する。 前年度からの改善点:昨年度と違うテーマや講師をお願いし、市民の需要に応えるべく、時事テーマやものづくり体験を積極的に取り入れて計画した。 目標値:アンケート結果で「楽しい／興味深い内容だった」「理解しやすかった」と回答した人がそれぞれ70%以上 予算額:33千円	実施時期:6月～12月 対象:成人女性 参加者数:13人(うち男性0人、女性13人) 内容:6回開催(実施計画どおり5テーマ) 女性が、教養を深め、自分自身を高めて充実した生活を送る助けとなった。 工夫した点:女性がいきいきとした生活を送れるよう、女性が興味を持ちそうなテーマを選定して実施した。 目標値に対する結果:アンケート結果で、「楽しい／興味深い内容だった」に丸をつけた人が8割以上、「理解しやすかった」に丸をつけた人は1割で目標値未達成 決算見込額:40千円	引き続き、市民の需要と見極めて、内容を精査して開催する。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18 =94.4%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
3	女性セミナー	生涯学習課(下田公民館)	継続	実施時期:5月～12月(月に1回) 対象:主に下田地区の女性 目的:女性が現代社会において知識の習得や教養の向上を目指し、様々な事を学習し、豊かで充実した生活が送れるよう開催する。 内容:①開講式・椅子で行う安心ヨガ②季節の和菓子づくり③自然派手ごね石鹸づくり④陶芸に挑戦⑤市議会傍聴と八十里越え弁当の試食⑥家庭で簡単!本格イタリアン⑦SDGsを学ぶごみゼロ生活⑧閉講式・お正月を彩るフラワーデザインのテーマで全8回実施する。 前年度からの改善点:女性が自分らしく豊かに生きることを目的とし、三条や地元下田をより知るための講座を取り入れた。 目標値:満足度アンケート(5段階評価)で5・4が80%以上 予算額:44千円	実施時期:5月～12月(月に1回) 対象:下田地区の女性 参加者数:36人(うち男性0人、女性36人) 内容:8回開催(実施計画どおり8テーマ) 工夫した点:昨年度、コロナ禍で中止となった市議会傍聴が開催でき、参加者に好評だった。また、八十里越え弁当試食も事業に組み込み、参加者同士の交流を図った。 目標値に対する結果:満足度アンケート(5段階評価)で5・4が100%以上で目標値達成 決算見込額:43千円	毎年多くの方にご参加いただいている講座であり、満足度も高い。来年度も内容を充実させ、更に広報を見直し、開催する。	A 1…3点 2…3点 3…2点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 17/18 =94.4%
4	男女共同参画講座	地域経営課	継続	実施時期:11月～12月 対象:一般市民 目的:「ひと(女)」と「ひと(男)」にかかわる様々な課題について、広く市民が気づき、考えるきっかけとなる機会を提供し、男女共同参画社会づくりにつなげていく。楽しみながら自然と男女共同参画の考え方に触れてもらうきっかけとすることを目指す。 内容:一般市民を対象に、家事分担や職業選択などについて男女共同参画の観点で、楽しく学べる講座を実施する 目標値:年間7回以上実施 予算額:214千円	実施時期、対象、内容:No.40と同じ ※今年度は令和3年度と同様に、LGBTQ+理解促進のための市民向け意識啓発活動と併せた形で実施した。 目標値に対する結果:年間1回開催で目標値未達成 決算見込額:1,160千円	実施内容について、当事者等の著名人による基調講演やトークセッションの他、市民を巻き込み型のコンテンツを継続して実施する。 また、公民館講座と連携し、大規模でなくとも実施できる内容を検討する。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…2点 6…3点 合計 17/18 =94.4%

基本施策2 男性のための男女共同参画に関する啓発

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
5	男の料理教室	地域経営課 (大崎会館)	継続	実施時期:1月～2月(3回) 対象:大崎・保内地区の成人男性 目的:男性が料理に興味を持ち、家庭での家事参加につなげることで固定的役割分担意識を変えていく。 内容:男性が料理を作る楽しさを感じ、家事に参加するきっかけとなるように料理教室を実施する。 会場:大崎会館分館 料理実習室 定員:9人 前年度からの改善点:アンケートで要望があった家庭でも作れる料理を学べる内容とする。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円(指定管理料12,398千円の中で実施)	実施時期:令和5年1月24日(火)、2月7日(火)、2月21日(火) 参加者数:9人 内容:日本料理の基礎 1回目:一番だしをひく 手打ちうどん、さつま揚げ、小松菜としめじの煮浸し 2回目:包丁の使い方 治部煮、さつま芋の白和え、わかめの酢の物、きのこの五目ご飯 3回目:まとめ お弁当を作ろう 鮭の揚げびたし、厚焼きたまご、赤飯、きんぴらごぼう、茶碗蒸し、お浸し 工夫した点:出汁のおいしさを味わうとともに包丁の使い方など日本料理の基礎を学び、家族に食べさせたいという気持ちになるような献立にした。 目標値に対する結果:教室受講後に、家で作ってみた人の割合が62%、今後家庭で作って見ようという人の割合が88%で目標値達成。(家で作られた方は最低でも2品、多い方で5品、特に治部煮は人気だった。) 決算見込額:21千円	品数が多く時間内に出来上がるか心配だったため、あらかじめ職員が一部野菜の下茹でを行ったりしていたため、品数を少なくして一から受講生に作ってもらおうと講師と話あった。 コロナの関係でここ2年間持ち帰りをしていたが、アンケートで会食が出来なくて残念という意見もあり、状況を見ながら会食を検討したい。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18 =100%
6	プロから学ぶ男の料理教室	生涯学習課(下田公民館)	継続	実施時期:10月～12月 対象:主に下田地区の男性 目的:男性に多い、固定的性別役割分担意識をなくし、料理を楽しく感じられること、また、その後の生活に活かしてもらえることを目的とする。 内容:男性が料理に興味をもち、その後の家事の参加のきっかけになるよう、また仲間作りに役立てるよう、男性向けの料理教室を開催する。和食の基本をプロの料理人に教えてもらう。 前年度からの改善点:まずは興味を持ってもらうためにも昨年度のアンケートを参考に作りたいメニューを取り入れつつ、プロに基本をしっかり教わるような講座とする。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円	講師の都合がつかず、令和5年2月末現在で未実施		D

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
7	認知症サポーター養成講座	高齢介護課	継続	実施時期: 通年 対象: 市民等 目的: 男女問わず、誰もが認知症の人やその家族の気持ちを理解し、認知症の人を地域で支える必要性を啓発することで、男女が共に暮らしやすいまちづくりを目指す。 内容: 認知症について、正しく理解し、認知症の人を誰もが温かく守る地域づくりを進めるため、地域における見守り役となる認知症サポーターの養成を行う。 小中学生を含む若い世代に加え、高齢者が訪れる機会が多い企業を対象とした講座が開催できるよう対象団体に周知し、講座の開催を呼びかける。 前年度からの改善点: 若い世代の認知症サポーターを養成するため、新型コロナウイルスの影響で申込みのなかった小中学校に対し、引き続き講座開催の周知を行う。 また、講座に従事できるキャラバン・メイトを育成する。 目標値: 認知症サポーター養成講座受講者数 600人 予算額: 474千円	実施時期: 通年 対象: 市民等 参加者数: 1,308人(うち男性790人、女性518人) 内容: 33回実施(住民向け11回、企業・団体向け2回、学校向け16回、三条市内部4回) 工夫した点: 前年度に引き続き、小中学校への周知を行ったことで、受講する学校が増加した。また、高校及び専門学校への周知を行ったことで、受講につながることができた。 目標値に対する結果: 受講者数 1,308人(達成率218%) 決算見込額: 234千円	昨年度から引き続き周知を行ったことで、小中学校からの申込みが多く、数多くの学生のサポーターを養成できた。 来年度も引き続き関係機関への周知を行い、各圏域で講座を実施できるよう働きかける。	A 1…1点 2…1点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 13/15 =86.6%
8	育児講座	子育て支援課	継続	実施時期: 通年(予定) 対象: 乳幼児の保護者 目的: 子育て拠点施設に来館し、講座に参加してもらうことで、男性が女性とともに育児に関わるためのきっかけとする。 内容: 子育て拠点施設(すまいるランド及びあそぼって)において、男性が参加しやすい講座を実施する。(月1回程度予定) 前年度からの改善点: 平日の主な利用者は女性であることから、土日祝日などに男性が子どもと一緒に参加しやすい講座を開催する。また、広報さんじょう参加募集時の表現に注意する。 目標値: 男性参加率25%以上 予算額: 32,228千円(指定管理委託料を含む)	実施時期: 通年 対象: 乳幼児の保護者 参加者数: 801人(うち男性234人、女性567人) 内容: すまいるランド684人(うち男性203人、女性481人) ・子どもわくわく広場(3回)・お化け屋敷(8回)・楽しいおりがみ(第一土曜日)、親子で作ろう(第三日曜日)(22回)・プレママパパ集合(第二日曜日)(11回)あそぼって117人(うち男性31人、女性86人) ・つくってあそぼう(第四日曜日)(10回) 工夫した点: 年度と同様、男性が子どもと一緒に参加しやすい土、日、祝日などに講座を開催することで、男女双方の利用促進に努めた。 すまいるランドでは、出産前から男性の育児参加への意識を高められるよう、プレママ・パパを対象とした情報交換会を開催した。 目標値に対する結果: 男性参加率は、すまいるランド29.7%、あそぼって26.5%となり、いずれも目標値達成。 決算見込額: 32,228千円(指定管理料を含む)	感染症対策による各種講座の実施方法等に制限がある中ではあるが、昨年度に比べ男性参加率増を達成できた。 引き続き少しでも男性の育児参加に繋がるような講座の開催を検討していく。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…3点 合計 16/18 =88.8%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
9	男女共同参画講座(再掲)	地域経営課	継続	No.4に同じ			
10	男女共同参画出前講座	地域経営課	継続	実施時期:通年 対象:市内各種団体 目的:男女共同参画意識の醸成を図る。 内容:各種団体の勉強会などに講師を派遣し、男女共同参画の視点からの内容を話してもらう。 前年度からの改善点:出前講座の開催依頼が減少しているため、9月までにテーマ及び講師の再検討を行い、より多くの団体の講座開催につなげる。 目標値:年間7回以上開催 予算額:74千円	実施時期:①令和4年8月22日(火)、②令和4年11月3日(金)、③令和4年12月26日(火)、④令和5年1月18日(木) 対象:市内各種団体 参加者数:225人(うち男性97人、女性128人) 内容:①ひとりひとりが幸せな社会のために～無意識の偏見への気づきから～(対象:さかえ学園小中一貫教育推進会議) ②自分も相手も大切に！～ストレス知らずに毎日を過ごす方法～(対象:大崎学園PTA家庭委員) ③モノとココロのお片付け～ライフオーガナイズを知ってみよう～(対象:一ノ木戸小学校すずらの会) ④自分も相手も大切に！～ストレス知らずに毎日を過ごす方法～(対象:本成寺中学校生徒、教職員及び保護者) 工夫した点:義務教育学校等から男女共同参画の講座依頼の問い合わせをいただくことが多く、好評いただいている無意識の偏見への気づきや性差を意識したストレスへの対処についてをおすすめしている。 目標値に対する結果:年間4回開催で目標値未達成。 決算見込額:74千円	今年度、テーマ及び講師の再検討を行い、来年度新たに講師をしてくださる方が見つかった。引き続き、来年度もより市民の興味が湧くようなテーマ及び講師の検討を行い、開催数が増加するよう努める。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…1点 合計 15/18 =83.3%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
11	農業従事者向け 広報・啓発	農林課	継続	実施時期: 通年 対象: 市内農業従事者向け説明会参加者及び農業関係協議会事業参加農業者 目的: 農業従事者は従前から家族労働を基準とした方が多く、男女共同参画についての関心が非常に薄いのが現状と思われる。そのため、農業従事者が集まる機会を有効的に活用し、男女共同参画の理念やワークライフバランスを周知いただき、家族内での理解を深めてもらいながら実践していただく。 内容: 農業従事者が多数集まる機会を利用し、広報誌等の配布物を活用して家庭内で家族と検討してもらうことを促す。 前年度からの改善点: 前年度は、農村生活アドバイザーによる意見交換会が年2回開催された。他の農業関係協議会等とも連携した活動を行うことにより、今後の推進活動に繋げていく。 目標値: 農業関係講演会を開催する時に、男女共同参画に関する資料を配布する。 また、女性農業者から男女共同参画への関わり方への意見聴取を年2回以上設定する。	実施時期: 令和4年5月19日(金)、11月24日(金) 対象: 農村生活アドバイザー 参加者数: 8人(うち男性0人、女性8人) 内容: 農村生活アドバイザー会議時に、男女共同参画に関する資料を配布し、女性農業者の立場から男女共同参画への関わり方についての意見を聞く場を2回設けた。 工夫した点: 農村生活アドバイザー会議の議題に男女共同参画を議題の一つとして取り入れた。 ※使用資料: 「これからの農業経営のためのハンドブック・女性とはたらく」(農林水産省作成) 目標値に対する結果: 女性農業者への意見聴取については年間2回実施したものの、講演会時の参加人数も予定より少なく、資料配布については十分な配布ができなかったため、目標値未達成。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年より話し合いの場が少なくなった。引き続き、三条市農業担い手協議会とも連携した活動を行うことにより今後の推進活動に繋げていく。 また、県經由で農林水産省から送付される配布用のハンドブックについて、送付部数を増やすよう依頼する。	C 1…- 2…- 3…- 4…1点 5…1点 6…1点 合計 3/9 =33.3%

基本施策3 方針・政策決定の場等への女性の参画促進

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
12	審議会等への女性委員の登用率向上のための指導	行政課	継続	実施時期: 通年 対象: 審議会等を運営する各課等 目的: 定期的な各課への周知や原因分析をすることにより、積極的に女性委員を登用し、男女共同参画の啓発を図る。 内容: 「審議会等の設置、運営等に関する指針」に基づき、その適正な運用について継続的に指導、助言、周知を図る。 また、特に女性委員登用率が低い審議会等については、推薦を依頼する団体に、長に限らず女性を推薦してもらう協力要請を繰り返し働きかけていくとともに、公募枠の委員や有識者・学識経験者の選定について女性の登用を配慮する等、令和4年度登用目標率35%の達成に向けて取り組む。 前年度からの改善点: 引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう要望するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう周知を行う。また、必要に応じて実施状況等のヒアリングを行う。(昨年度に問題意識の醸成を図るため、新たに委員の女性比率を記載した「審議会等一覧表」を市のホームページで公開した。) 目標値: 女性登用率 35 % (令和4年度中)	実施時期: 通年 対象: 審議会等を運営する各課等 内容: 審議会委員等のデータ更新作業依頼時(年4回)に、推薦を依頼する団体等に対して長に限らない女性委員の推薦協力の要請や公募枠の委員、有識者・学識経験者の選定に女性を積極的に登用する等の周知を図った。また、女性登用率の低い審議会等については必要に応じて実施状況等のヒアリングを実施した。 工夫した点: 地域経営課職員と審議会所管課を訪問し、委員推薦を依頼する際の文書には女性の積極的な推薦をお願いしたい旨を必ず明記するよう、再度依頼した。 目標値に対する結果: 女性登用率 26.67% (令和5年1月1日時点)	引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう要請するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう周知を行う。また、実施状況等のヒアリングも継続して行っていく。	B 1…- 2…- 3…- 4…2点 5…2点 6…2点 合計 6/9 =66.6%
13	農業関係協議会等における女性の参画促進	農林課	継続	実施時期: 通年 対象: 市内で農業に従事する女性 目的: 家族従事者としての役割を担っている女性の意見を取り入れる。その意見を地域農業に反映させることにより、女性主体の農業の確立を目指す。 内容: 農業関係協議会への女性の参画促進を図る。 「三条市農業担い手協議会」や「三条市再生協議会」等の農業関係協議会で行う講演会・総会等の出席案内において、女性の参画を促す。 講演会や総会の開催時間帯を決める際には、女性が参加しやすいよう考慮して決定する。 前年度の課題からの改善点: 協議会の一つである三条市農業担い手協議会は、会員数170名のうち女性会員は5名で構成されている(R4.2.3現在)。女性の会員数が少ない為、家族会員から増加させるなど役員へ検討してもらうよう声掛けをする。また、農村生活アドバイザーからも声掛けをしていただく。 目標値: 「三条市農業担い手協議会」における女性役員を1名以上増やす。	実施時期: 令和5年2月25日(日) 対象: 市内で農業に従事する女性 参加者数: 0人 内容: 「三条市農業担い手協議会」は三条市の農業者で構成されている。主な活動内容は、情報交換会、視察研修会、総会で会員の交流を図りながら、地域の農業発展について考える会である。 例年の情報交換会では、農業関係者や食育に関する講演会を行っている。 工夫した点: 講演会や総会に女性会員の参加を促したが、予定が合わず参加していただけなかった。家族会員増加のための声掛けもおこなったが、会員の家族が農業に従事していないことが多く、今年度の新規入会は無かった。 目標値に対する結果: 未達成	三条市農業担い手協議会は会員数143名のうち女性会員は5名で構成されている(R5.2.28現在)。女性の会員数が少ないため、家族会員から増加させるなど役員へ検討してもらうよう声掛けをする。また、農村生活アドバイザーからも声掛けをしていただく。	C 1…- 2…- 3…- 4…- 5…1点 6…1点 合計 2/6 =33.3%